

国語（児童・生徒の学力向上を図るための調査）

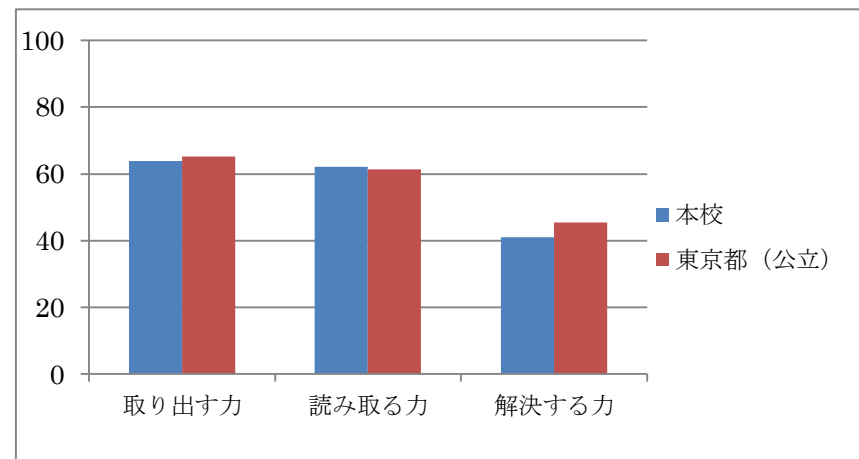
1. 観点別の正答率についての分析

(1) 国語A：教科の内容



- ① 4つの観点の正答率は、東京都の数値に近いものだった。
- ② 「～のように」を用いて拍手が鳴る様子を表現する問題は、正答率が低かった。

(2) 国語B：読み解く力に関する内容



- ① 「読み取る力」は、東京都の正答率を上回った。
- ② 「解決する力」は低かったが、理解・解釈など、考える力と関連している。

2. 結果からの考察

(1) A：教科の内容

「関心・意欲・態度」などの4つの分野は、東京都の平均より若干低い程度だが、「書く」の分野の正答率が40パーセント以下だった。

(2) B：読み解く力に関する内容

「読み取る力」は東京都の平均を上回っていたが、「解決する力」が少し低かった。

3. 指導改善のポイント

(1) A：教科の内容

12月に実施したチャレンジ問題を活用して正答条件を示し、記述式問題の解答方法を指導する。

(2) B：読み解く力に関する内容

問題解決の方法を考える出題でも、問題の意図を正確に把握できずに解答する生徒が多い。授業の中で、文章を正確に読み取る力を更に高めることを目標とする。